

Brown Bag Seminar



ブラウンバッグセミナー

録画期間限定公開
オンライン(Zoom)

【技術支援】九州大学 Q-AOS & TEMDEC

2022.3.9 (水)

登録はこちら

日 ← 同時通訳 → 英

12:10 ~ 12:50

- 12:10-12:15 ◆ 演者紹介
- 12:15-12:40 ◆ プレゼン
- 12:40-12:50 ◆ 質疑応答

https://temdec-med-kyushu-u-ac-jp.zoom.us/webinar/register/WN_FcdxVSWSSB6H0D6FSorUCg

SDGs を考慮した 土砂災害防止対策の早期警報システム

司会：横田 文彦 准教授 (Q-AOS 研究推進コーディネーター)

近年、世界各地で、気候変動による降雨の頻発や集中豪雨により、土砂災害が増加しています。2004 年から 2016 年の間だけで、世界中に 4,000 件の土砂災害が発生し、約 56,000 人の死者を出しています。そのうちの 75%がアジア地域占めています。一方、日本では過去 10 年間で土砂災害が 50%増加し、そのほとんどが九州地方で発生しています。土砂災害の危険地域では、早期警戒避難情報システム (EWS) の活用による住民の避難が災害防止に向けた最も有効な手段です。本講演では、IoT (Internet of Things) とエネルギーハーベスティングシステムを組み合わせた持続可能な EWS を紹介します。この EWS を活用し、現場でのモニタリング、データ収集、およびその後のリスク分析により住民に警報出すことが可能です。開発したシステムは自治体などが豪雨時の土砂災害の危険性の早期発見に活用し、避難勧告を発信し、住民の生命と財産を守ることができます。



ハザリカヘマンタ 教授

九州大学大学院 工学研究院

現在、九州大学大学院工学研究院教授・共創学部専任教授。1990年、インド工科大学(IIT) マドラス校で土木工学の修士号を取得。1993年に名古屋大学で修士号(地盤工学)、1996年に同大学で博士号を取得。地震防災、リサイクル材料の建設への応用、土砂災害の防止対策などの研究活動を行っている。現在までに、様々な国際誌、国際会議、ワークショップ、シンポジウム等で350以上の研究論文を発表している。また、土質力学に関する2冊の本も執筆している。「土質力学の基礎と応用」(CRCプレス社、米国)とその日本語版(共立出版、東京)。現在、国際地盤工学会(ISSMGE)の「アジア太平洋地域における気候変動による地盤災害の緩和と適応」に関するアジア地域技術委員会の委員長を務める。また、2021年8月に設立された一般社団法人 GLOSS(Global Society for Smart Geo-Sustainnovation) の設立代表理事を務めている。

